

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

建築と自然の融合をめざす景観建築学科で 学生が花苗を高校生にプレゼント

武庫川女子大学の景観建築学科は、建築と自然の融合をめざす同学科の学びを高校生に実感してもらおうと、学生が授業で育てた花苗を、7月10（土）、11日（日）に開催されるオープンキャンパスで来場の高校生らにプレゼントします。

建築学部景観建築学科は人と自然、建築の共生を実現する設計者の育成を目的に、2020年4月に開設しました。景観建築は欧米ではランドスケープアーキテクチャとして建築学の重要な位置を占めますが、日本では「造園」として農学に分類され、建築と専門が分かれていました。

花苗プレゼントは、建築学の新しい潮流を高校生に知ってもらおうと、教員と学生が企画しました。同学科では植物を苗から育てて花壇に植え付け、キャンパスの庭園管理や景観設計に生かす授業があります。建築学部は阪神間モダニズムを今に伝える甲子園会館（旧甲子園ホテル）を学び舎としており、学生たちが育てた花はキャンパスのあちこちで、名建築を彩っています。オープンキャンパスでは建築と自然が溶け込むキャンパスを見学してもらおうとともに、花苗の育て方や景観への取り入れ方を紹介します。

プレゼントする花苗はセンニチコウ、マリーゴールド、ワタなど。2日間で130ポット用意します。

7月のオープンキャンパスは原則、事前申し込み制ですが、直接、上甲子園キャンパスに来場の場合、申し込みは不要です。

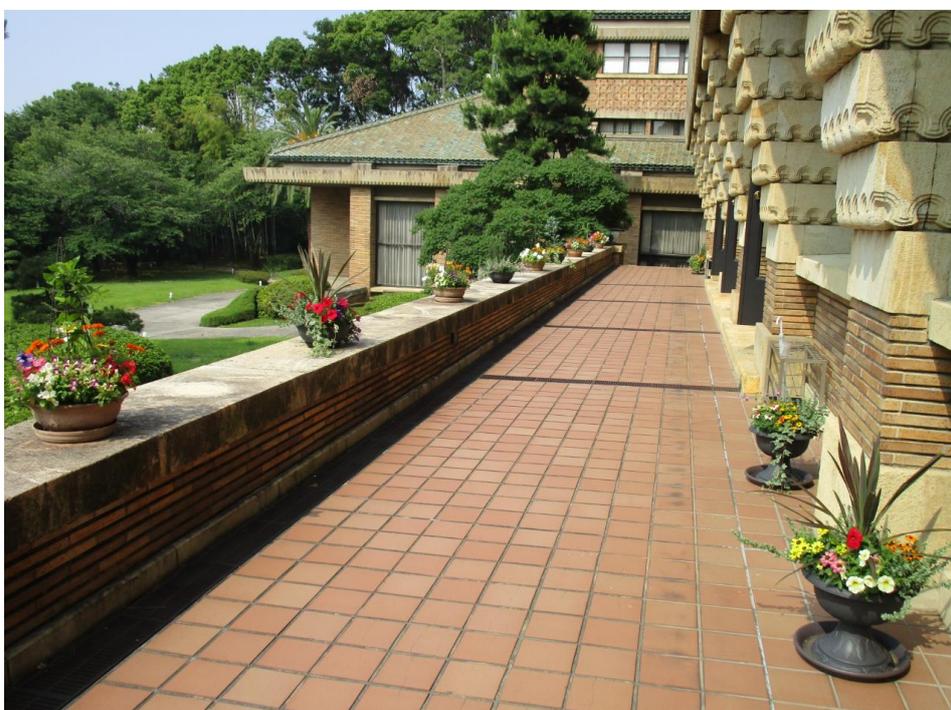
詳しくは武庫川女子大学ホームページ受験生サイト（<https://www.mukogawa->

u.ac.jp/~nyushi/o_campus/d_t_guide/opencam/open.html) をご確認ください。

この件についてのお問い合わせは

武庫川女子大学広報室 (TEL : 0798-45-3533) までお願いします

景観建築の学びが活きる甲子園会館の植栽



甲子園会館のテラスを彩る花々